

会 議 録

会 議 名		平成 29 年度 第 2 回 八王子市環境推進会議				
日 時		平成 29 年 12 月 26 日 (火)	開 始	14 時 00 分	終 了	15 時 45 分
場 所		八王子市役所 8 階 802 会議室				
出 席 者 氏 名	委 員	【環境市民会議】 依田 和子、栗田 和仁、高橋 一郎、佐藤 晃、浅田 政勝、谷村 伸一（議長）、 田中 猛、沼田 政見、加納 啓有、山下 明子 【市民委員】 飯沢 由里香、小沼 廣、吉川 政雄 【市職員】 小山総合経営部長、佐久間環境部長（副議長）、原田資源循環部長、池内水循環部長、 南部環境政策課長 以上 18 名				
	事務局	環境部環境政策課 : 平井課長補佐、星主査、三田主任、道山主事 以上 4 名				
欠席者氏名		守屋都市計画部長、三輪まちなみ整備部長 以上 2 名				
議 題		1. 委員紹介 2. 議長・副議長選任 3. 議題 (1) 第 2 次環境基本計画の平成 29 年度上半期の実績及び評価について				
公開・非公開の別		公開				
配 付 資 料		【事前配付】 ・ 次第 ・ 資料 1-1 第 2 次環境基本計画「第 6 章 地域の行動」における各地区の活動実績 【平成 29 年度上半期】 ・ 資料 1-2 第 2 次環境基本計画「第 4 章 基本目標」進捗管理シート 【平成 29 年度上半期】 【当日配付】 ・ 修正資料 1-2 第 2 次環境基本計画「第 4 章 基本目標」進捗管理シート 【差替え用資料 1-2】				
内 容		・ 谷村議長挨拶 ・ 委員の出欠及び配付資料の確認 1. 議題 (1) 第 2 次環境基本計画の平成 29 年度上半期の実績について ・ 第 2 次環境基本計画「第 6 章 地域の行動」における各地区の活動実績について、資料 1-1 に基づき、各地区より説明した。 【説明内容抜粋】 ■【中央地区】「ごみの分別徹底とリサイクルの推進」では、各種イベントに広く参加し、今年度は全国都市緑化はちおうじフェアではゴミの分別等を実施した。また、「環境教育・環境学習等の推進」では、第三小学校青空学級の浅川校外学習や第六小学校でも川の体験学習を実施した。 ■【北部地区】「谷地川の調査と清掃活動」では水量調査等を実施した。「緑地保全活動」では、各種環境保全活動団体と緑地を保全整備する活動実施。山の見回り等に取り組んだ。また「地区の環境マップ作成」では、既存の環境マップの改定作業を進めている。				

■【西部地区】「環境教育支援事業の実施」では、式分方小学校にてダンボールコンポストによる肥料化学習方法学習を実施した。その他にも地域との連携を目標に掲げており、施設見学や環境道路美化にも取り組んでいる。

■【西南部地区】「高尾山の環境保全活動」では、年4回調査活動及び環境パトロールを実施した。また、「里山の保全活動」では、新たな取り組みとして夏休みにおける子供の自然体験講座を市制100周年記念事業の一環として実施した。他にも全国都市緑化はちおうじフェア（南浅川サテライト会場）に参加した。

■【東南部地区】「東南部駅周辺のきれいさ評価や北野駅の清掃活動」では、地区内の駅周辺でごみを拾い、数を調査する「きれいさ評価」を実施した。ごみは年々減少している。現在、近辺の交通量多さが懸念事項としてある。また、「地域の自然・歴史の調査と勉強会と自然体験講座」では、自然体験講座「いかに川下り」については雨天のため中止。代わりとして太陽光での焼き芋ふかしを実施した。子どもたちや地域の方々と交流を深めることができた。

■【東部地区】全国都市緑化はちおうじフェア（南大沢サテライト会場）へ参加した。子供を対象に竹笛作り体験を実施し、多くの反響を頂いた。また、南大沢駅前に掲示した自然散策路マップについては多くの人たちに見て頂くことができた。

【質疑・応答及び意見】

■エコひろばから環境市民会議への支援金の金額については、どのような経緯で決まっているのか。

→市として予算を決めた中で、エコひろばに委託し、その中で支援金として運営できる範囲で決めている。

■今年度の環境学習支援対象の小学校を10校にするということで承知しているが、来年の予算をとることで支援学校を増やしていけないのではないか。

→環境教育支援については予算の兼ね合いがあり、予算編成としてはまだ先の話なので即答はできないが、認識はしている。

■各地区の報告の仕方について、市民が参加した人数が重要だと思うがその人数は記載されないのか。

→西部地区では、一般市民の参加がない場合は特に記載はしていない。各地区も同様の認識でいる。

■環境教育支援や自然体験について、子供の体験は大事である。全70校ある小学校うち支援校が10校しかないのは少ないと感じる。次世代の環境保全を担う世代についての川の自然体験学習等の土台作りが大切ではないか。

→市として実際は工場や施設の見学等も行なっている。環境教育支援は川における自然体験学習が10校ではあるが、今後増やして行きたい。

■東南部地区では駅前の路上喫煙対策活動の効果は出ていると思うが、駅から少し離れた住宅街や路地等の、ポイ捨てが目立ってきたように感じる。各地区の方々はどう感じているか。

→駅前の路上喫煙対策活動を始め、ポイ捨てについても過去10年間に比べ、確実に減少傾向にはある。そのため、今ある活動を維持し効果の拡大を図っていく必要がある。

・第2次環境基本計画「第4章 基本目標」における実績及び評価について、資料1-2に基づき、事務局（環境政策課）より説明した。

【説明内容抜粋】

■I-3「まちなかのみどりの保全・創出」は、斜面緑地保全区域の新規指定を実施した。また、遊休農地の活用として、借受希望者に紹介し、マッチングとして4件成立した。今後も里山サポーター育成講座等を活用し、担い手の育成や斜面緑地保全区域への派遣等により拡充していく。

■I-4「水資源の保全と再生」は、雨水浸透施設の設置促進として、雨水浸透ます30基、浸透トレンチ35.9mを設置した。今後も雨水浸透施設設置のPRや流出抑制の徹底により拡充していく。

■I-6「生物多様性の保全」は、自然体験学習として7月9日に「ガサガサ探検隊」（参加者271人）を実施した。

	<p>■Ⅱ-1「ごみの発生抑制と資源化の推進」は、家庭系ごみの減量対策としてダンボールコンポスト等の講習会（受講者 226 人）を実施した。また、食品ロスについてイベント等でオリジナルポスターやステッカーにより周知啓発を実施した。</p> <p>■Ⅱ-4「再生可能エネルギーの普及拡大」は、再生可能エネルギー利用機器設置補助申請を 112 件受付した。また、コニカミノルタサイエンスドームに太陽光発電設備を導入（10kw 設置）した。</p> <p>【質疑・応答及び意見】</p> <p>■緑の多い市として認識しているが、緑地の「質」についてどのように今後高めていくのか。</p> <p>→事務局（環境政策課）として里山サポーターの育成等を始め、緑地の「質」の向上に関して今後の基本計画でも考慮していく所ではある。</p> <p>■ごみの問題について、エコひろばと連携して今後も活動を広く展開して頂きたい。</p> <p>→生ごみ資源化として施策を展開している所ではあるが、ダンボールコンポストを始めとした施策を今後も検討していく。</p> <p>■八王子市が管理している森について手つかずの場所があるが、そういった場所についても萌芽更新等の管理が必要なのではないかと。</p> <p>→民地である部分も多く全てについて着手することは難しいかもしれないが、必要性については認識している部分ではあり、計画の中で方針を定めていく所ではある。</p> <p>■地球温暖化の影響により各地で様々な災害（水害等）が起こっているが、防災無線等が伝わっていない市民の方が多いのではないかと。また、基本的に自分の身は自分で守るという意識を市民の方へ促す必要があるのではないかと。</p> <p>→浸水ハザードマップや災害時の避難場所については浸水被害の可能性がある地域に事前に配布や説明等している。防災無線は最近ではデジタル化も進めており、地域ごとに情報の細分化も一部可能となっている。また、地域FM局が開局したことから防災無線とラジオと連携しての放送や防災メールでの配信も行っている。その上で、市民の方の防災への関心が何よりも大事なのではないかと考えている。</p> <p>■【議長】 これまでのご意見を踏まえ、委員の発言を事務局が取りまとめるという形でお願いしたい。まとめた内容については議長に一任とする。</p> <p>全員承認</p> <p>・今後の環境推進会議の予定について</p> <p>■今年度は平成30年2月20日に第3回環境推進会議を実施予定。</p> <p>■議題は環境基本計画の改定方針とごみ処理基本計画の改定の中間報告を予定。</p> <p>■平成30年度については、4回程度の開催を予定。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>署名人</p>	<p>平成 30 年 3 月 15 日 署名人 谷村 伸一</p>